

木質飼料の給与が黒毛和種肥育牛の肥育成績に及ぼす影響

○森弘・黒木邦彦・工藤寛・垂水啓二郎<sup>1)</sup>

(宮崎畜試・<sup>1)</sup>宮崎県畜産課)

【目的】

海外悪性伝染病を防止するため、良質な粗飼料が求められている。宮崎県内で開発された杉間伐材を蒸気煮粉碎したウツンファーバー（㈱九州産業製）は稲ワラ代替え飼料として期待されている。このため、これら稲ワラ代替え飼料が黒毛和種の肥育成績に及ぼす影響について調査した。

【材料および方法】

黒毛和種去勢牛を12か月から28か月齢まで肥育し中期からの粗飼料をI区は稲ワラのみ、II区は稲ワラ及び木質飼料（ウツンファーバー：㈱九州産業）を給与して発育及び枝肉成績について調査した。（第1表、第2表）

【結果および考察】

1) 飼料の摂取量

粗飼料の摂取量はII区が高い傾向となったが、濃厚飼料ではややII区が低い傾向となった。（第3表）

2) 発育の推移

発育成績については両区に差は見られなかったがややI区で後期の日増体量が高い傾向を示した。（第4表）。

3) 枝肉成績

格付け成績はやや、枝肉歩留基準値がII区で低い傾向にあったが両区に有意な差はみられなかった。（第5表）

以上のことから、木質飼料を稲ワラと同時に給与した場合には、稲ワラの場合に比べても発育成績や枝肉成績において特に問題はなく木質飼料は利用可能であると考えられた。

表1 試験区分

区分	前期	中期	後期	頭数
	12~16か月齢	15~22か月齢	23~26か月齢	
I	オーツヘイ 4kg VA1,000IU/kg	稲ワラ 2.0kg	稲ワラ 1.5kg VA500IU/kg	6頭
II	オーツヘイ 4kg VA1,000IU/kg	稲ワラ0.5kg 木質飼料0.5kg	稲ワラ0.5kg 木質飼料0.5kg VA500IU/kg	6頭

表2 木質飼料及び稲ワラの成分

	水分 (%)	CP (%)	EE (%)	NFE (%)	CF (%)	TDN (%)	β-カロテン mg/100g
木質	29.1	0.4	0.4	0.5	43.7	-	-
稲ワラ	15.9	4.0	1.8	43.2	30.6	41.4	0.29

表3 一日当たり飼料摂取量 (kg)

体重	I	開始時	前期終了	中期終了	後期終了
		II	304.3 ± 15.5	442.5 ± 25.8	611.7 ± 48.0
		314.2 ± 18.1	452.0 ± 27.0	623.3 ± 56.7	710.3 ± 57.8

日増体量	I	肥育前期	肥育中期	肥育後期	全期間
		II	0.987 ± 0.10	0.806 ± 0.14	0.735 ± 0.12
		0.985 ± 0.12	0.816 ± 0.16	0.690 ± 0.05	0.832 ± 0.10

表4 体重及び日増体量の推移 (kg)

濃厚飼料	I	5.7 ± 0.3	7.5 ± 0.8	8.1 ± 0.1	7.3 ± 0.7
	II	5.7 ± 0.1	6.6 ± 0.7	7.1 ± 0.1	6.5 ± 0.6

粗飼料	I	2.0 ± 0.4	0.5 ± 0.1	0.3 ± 0.1	0.8 ± 0.1
	II	2.2 ± 0.6	0.8 ± 0.1	0.7 ± 0.1	1.1 ± 0.2

表5 枝肉成績

	枝肉重量 (kg)	歩留 (%)	胸長長筋 (cm)	バラ厚 (cm)	脂肪交雜 (BMS)	肉色 (BCS)	脂肪色 (BFS)
I	453.8 ± 38.9	73.7 ± 0.52	53.8 ± 6.0	8.0 ± 0.4	4.3 ± 1.0	3.5 ± 0.6	3.0 ± 0
II	458.4 ± 32.0	72.4 ± 1.19	48.8 ± 3.5	7.9 ± 0.6	4.5 ± 0.6	3.5 ± 0.6	3.0 ± 0